

第5回平塚市社会教育委員会議 次第

令和3年10月26日(火) 午後3時
平塚市役所619会議室 司会：社会教育課長

1 議長あいさつ

2 議事

(1) 神奈川県社会教育委員連絡協議会の事業について

- ①研修会(動画配信によるWeb開催)について【配信期限：11月26日(金)まで】
 - ・視聴後のアンケート【提出期限：11月26日(金)まで】

②地区研究会について

日時：令和4年1月20日(木) 13:30～16:00(12:30受付開始)
場所：横須賀市文化会館 大ホール

(2) テーマ協議

(3) 今後の会議予定の確認

- ・第6回会議 令和4年1月25日(火) 15時から619会議室にて

3 その他

【当日配布資料】

- ・次第
- ・県社教連 研修会関係資料一式

令和2・3年度
平塚市社会教育委員会議

第5回定例会議

令和3年10月26日（火） 午後3時～

平塚市役所 619会議室

令和2・3年度 平塚市社会教育委員名簿

	氏名	分野	推薦母体	任期
1	まきの けんじ 牧野 賢治	学校教育関係者	平塚市立小学校長会 (相模小学校)	R2.6～
2	よしなり しんじ 吉成 伸司	学校教育関係者	平塚市立中学校長会 (横内中学校)	R2.6～
3	えみず ただひと 江水 是仁	学校教育関係者	東海大学	H30.6～
4	くりはら くにお 栗原 邦夫	社会教育関係者	平塚市自治会連絡協議会	R3.6～
5	まるしま たかお 丸島 隆雄	社会教育関係者	平塚市地域教育力ネットワーク協議会	R2.6～
6	はらだ みつゆき 原田 三行	社会教育関係者	平塚市公民館連絡協議会	H30.6～
7	わたなべ あやこ 渡邊 彩子	家庭教育関係者	平塚市PTA連絡協議会	R2.6～
8	きたざわ こういち 北澤 浩一	学識経験者	前花水公民館長 平塚市地域教育力ネットワーク協議会前会長	H28.6～
9	ふかわ ふみこ 府川 文子	学識経験者	元小学校長	H28.6～
10	おおわだ まいこ 大和田 マイ子	学識経験者	元公募委員	H30.6～

≪平塚市教育委員会≫

所属・職	氏名
教育長	吉野 雅裕
社会教育部長	平井 悟
社会教育部社会教育課長	鈴木 和幸
社会教育部中央公民館長	西山 聡之
社会教育部社会教育課課長代理	坂田 剛
社会教育部社会教育課主査	木村 圭太
社会教育部社会教育課主事	市川 貴美華

議事（２）テーマ協議

テーマ：コロナ禍におけるこれからの社会教育のあり方（仮）

第3回、4回会議で出された意見等、課題や今後の対応策を3～4ページにまとめている。

今期の報告書を作成するにあたって、どのような構成の報告書とするか、どのような内容のものとしていくか等を協議していきたい。

<メモ>

第3回、4回会議で出された意見等

【取り組み例】

- まちぐるみ大清掃を少人数で実施した。地域と子ども達が交流できる良い機会になっている。手指消毒やマスクの着用、密にならないように実施すれば、安全に実施できた。
- 学校では、地域の方たちとの交流として、「相模歴史ウォーク」を実施。食事は一緒には摂らず、屋外、少人数で実施した。
- 公民館では、シニア学級を少人数に分散し、回数を増やして実施している。
- 東海大学では、コロナ検定を実施し、検定にパスした人が入構できるといった取り組みを行っている。
- 中学生が高齢者のワクチン接種予約のボランティアをしている事例がある。(他市での取り組み)
- 高齢者向けのパソコンやスマホ講座の実施
- 学校の教室に設置された大型ディスプレイを活用し、個食や黙食となっている給食時に絵本や紙芝居の読み聞かせのボランティア活動
- 港地区でのお祭りでは、密にならないように車を使った神輿の渡御
- 豊田公民館で実施したナイトウォークでは、家族毎のグループに分けて、受付時間も密にならないよう分散して行った。
- 博物館での動画配信や図書館での電子図書館の取り組み。

【コロナ禍で良くなったこと】

- リモート会議が浸透し、移動の時間が無くなったことで気軽に会議ができるようになった。

【課題】

- 地域のイベントなどがコロナで中止となってしまい、行事や人と人との繋がりが途絶えてしまう。
- リモート会議に頼り過ぎ、人と人との繋がりが希薄になるのではないか。

【今後の対応策】

- コロナ禍を契機に地域のお祭りやイベントなどの動画を記録することで地域のアーカイブ化を進め、未来に伝承する。
- オンラインでの繋がりと直接の対面の繋がりを融合。
- コロナ禍では、今後のことを考え具体的に工夫しながら実際にやっていかないと見えてこないこともある。

テーマ：コロナ禍におけるこれからの社会教育のあり方（仮）

【ICT】

課 題	今後の対応策
<ul style="list-style-type: none"> ・ ICT環境の充実（Wifi環境や機器の貸出等） ・ ネットを通じた危険性（ネット犯罪、いじめ、依存症等）、ネットでの肖像権や個人情報の問題など ・ 情報リテラシーの問題（情報弱者への対応） 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 公民館等でのスマホ講座などの充実 ・ 子どもや若者たちが高齢者に使い方を教えるような機会の創出 ・ ちいき情報局やSCN、ナパサ等を活用した情報発信の充実

【社会教育施設（公民館、図書館、美術館、博物館、体育施設等）】

課 題	今後の対応策
<ul style="list-style-type: none"> ・ 施設臨時休館時における社会教育の停滞 ・ スポーツなどの体験型学習は、オンラインだけでは限界がある 	<ul style="list-style-type: none"> ・ オンライン学習の充実や図書や資料等の電子化、メタデータの利活用 ・ 学びを止めないために一律での休館ではなく、感染症対策を講じた上で利用できるよう検討する ・ 自分が活動している地域の良さを見つけられるような働きかけ（例：「市民みんなが学芸員」活動） ・ 社会教育施設の通信環境の充実 ・ 多様な情報発信手段の活用（SNS、ケーブルテレビ、FM局など） ・ オンラインと対面を併用したハイブリッドな学習の展開 ・ 学びを止めないために一律での休館ではなく、活動内容によっては感染症対策を講じた上で利用できるよう検討する

【人材、人づくり】

課 題	今後の対応策
<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域活動が停滞することで、人と人との結び付きが希薄化してしまう 	<ul style="list-style-type: none"> ・ コロナ禍での人材育成の事例を紹介する ・ 地域デビューできる組織づくり ・ 公民館事業などの企画会議の出席者を公募する ・ 小中学生に働きかけた事業企画（子ども達の地域参加促進） ・ オンラインを活用した遠隔地の人達や物理的に社会教育活動に加われなかった人達との交流や人材育成 ・ オンライン以外で交流できる方法の模索

【その他】

課 題	今後の対応策
	<ul style="list-style-type: none"> ・ （新たなパンデミックなどに備え）コロナ禍における対応を、行政・教育機関、各種団体等で整理して記録しておく

令和3年度平塚市社会教育委員 会議等予定表

日時	会議名	会場	対象
4月16日(金)	県社教 理事会①	かながわ県民センター	県理事
6月1日(火)	定例会議③	平塚市役所(619会議室)	全員
6月上旬	県社教 総会(書面開催)		
7月27日(火)	定例会議④	平塚市役所(619会議室)	全員
9月13日(月)	県社教 研修会	総合教育センター	県理事および 希望者
10月25日(月)	県社教 理事会②	総合教育センター	県理事
10月26日(火)	定例会議⑤	平塚市役所(619会議室)	全員
11月11日(木) ～ 11月12日(金)	関東甲信越静社会教育研究大会	東京都府中市	希望者
1月20日(木)	県社教 地区研究会(横須賀市)	横須賀文化会館	県理事および 希望者
1月25日(火)	定例会議⑥	平塚市役所(619会議室)	全員
2月14日(月)	県社教 地区研究会(秦野町)	クアーズテック秦野カルチャーホール(秦野文化会館)	県理事および 希望者
3月14日(月)	県社教 理事会③	総合教育センター	県理事

その他として、令和4年2月に教育委員との懇談会を予定

令和3年度神奈川県社会教育委員連絡協議会地区研究会【横須賀市会場】
開催要領（案）

- 1 テーマ 社会教育・社会教育施設のあり方 ～横須賀市を例として～
- 2 目的 県内各市町村の社会教育委員が一堂に会し、それぞれの地域での取組や社会教育の今日的課題について研究協議・情報交換することにより、資質の向上を図る。
- 3 主催 神奈川県社会教育委員連絡協議会
- 4 主管 横須賀市社会教育委員会
- 5 日時 令和4年1月20日（木）13：30～16：00（12：30受付開始）
- 6 会場 横須賀市文化会館 大ホール（定員1,098席）
横須賀市深田台

7 日程

〈式典〉 13：30～13：45

司会進行

開会の言葉；横須賀市社会教育委員会議長

主催者挨拶：神奈川県社会教育委員連絡協議会会長 小池 茂子

来賓祝辞：

〈人権講話〉 13：50～14：10

人権擁護委員による講話

〈アトラクション：講演〉 14：15～14：50

横須賀カルタ・坂本龍馬とお龍さん

〈研究発表〉 15：00～16：00

〈閉会の言葉〉

参考 過去の地区研参加人数

令和元年度	小田原市 164名	厚木市 260名（その他123名含む）
平成30年度	伊勢原市 161名	茅ヶ崎市 179名（一般27名含む）
平成29年度	清川村 162名	松田町 161名

令和3年度神奈川県社会教育委員連絡協議会地区研究会
 〈秦野市会場〉開催要項（案）

【研究テーマ】「秦野市の社会教育～各種団体の変遷と未来へ繋いでいくべきもの～」

- 1 目的 県内の各市町村の社会教育委員が一堂に会し、それぞれの地域での取り組みや社会教育の今日的課題について研究協議・情報交換をすることにより、資質の向上を図る。
- 2 主催 神奈川県社会教育委員連絡協議会
- 3 主管 秦野市社会教育委員会
- 4 日時 令和4年2月14日（月） 13:30～16:00
- 5 会場 クアーズテック秦野カルチャーホール 小ホール（定員498席）
 秦野市平沢82番地（電話）0463-81-1211

6 日程

- 13:00～13:30 受付
- 13:30～13:45 式典
 - 司会進行 秦野市社会教育委員 ……………○●○○○
 - 開会のことば 秦野市社会教育委員 議長 ……………逢坂 伸一
 - 主催者挨拶 神奈川県社会教育委員連絡協議会会長 ……………小池 茂子
 - 来賓祝辞 神奈川県教育委員会教育局生涯学習課長……………河田 貴子
 秦野市教育委員会教育長 ……………佐藤 直樹
- 13:45～13:50 <舞台転換>
- 13:50～14:20 人権講話「地域における人権教育の現状」（仮）
 秦野市元教育長 ……………金子 信夫
- 14:20～14:25 <舞台転換>
- 14:25～14:40 アトラクション「秦野音頭、たばこ音頭」（仮）
- 14:40～14:50 <休憩>
- 14:50～15:15 事例発表①「社会教育施設について（公的社会教育の事例）」
- 15:15～15:40 事例発表②「子ども会・婦人会について（民間社会教育の事例）」
- 15:40～15:45 まとめ
 秦野市社会教育委員 ……………逢坂 伸一
- 15:45～16:00 質疑
- 16:00 閉会
 秦野市社会教育委員議副議長 ……………○●○○○